

昨年（2014年）の7月（No. 312）には鍼刺激についての情報をお知らせしましたが、今回は第二弾です

最近、統合医療という言葉を見聞きすることが多くなりました。統合医療の先進国である米国では、統合医療の定義を以下の様に考えています。

- ・ 従来の医学と安全性と有効性について質の高いエビデンスが得られている相補（補完）・代替療法とを統合した療法
- ・ 相補（補完）・代替療法とは、一般的に従来の通常医療とみなされていない、様々な医学・ヘルスケアシステム・施術・生成物質など。

以下は主な相補（補完）・代替療法です。

- ・ 天然物…ハーブ、ビタミン、ミネラル、サプリメント、健康食品など
- ・ 心身療法…鍼灸、マッサージ療法、瞑想、運動療法、リハビリテーション、ヨガなど。

日本（厚生労働省）では統合医療についての見解は、以下の通りです。

- ・ 近代西洋医学と前提として、これに相補（補完）・代替療法や伝統医学等を組み合わせて更にQOL（生活の質）を向上させる医療であり、医師主導で行うものであって、場合により多職種が協働して行うもの

つまり、統合医療とは「西洋医科学」と「代替医療」の各々の長所を取り入れた医療で医師をリーダーとして多職種協働で行うものです。

統合医療というシステムでは「鍼灸・鍼灸師」「マッサージ・マッサージ師」は以下の様に考えられています。

鍼灸・鍼灸師

- ・ 身体への物理的刺激を伴うもので
- ・ 国家資格など国の制度に組み込まれているもの

マッサージ・マッサージ師（あん摩・指圧・マッサージ師）

- ・ 手技的行為を伴うもの
- ・ 国家資格など国の制度に組み込まれているもの

米国では代替医療または代替・補完医療（CAM）、欧州では補完療法という言葉が使われています。

西洋医学は病気の原因に対処するため薬剤や手術などの医療サービスを提供するもので急性の感染症や早期の癌などの治療に優れています。

代替・補完医療（CAM）は健康保持やストレスなどの対処に有効で、保健・予防を目的として自然治癒力の向上、QOLの向上を目指します。

代替・補完医療の一つとされる鍼（刺激）は、神経痛（慢性的な痛み）、腰痛、リウマチ、五十肩、頸腕症候群などには医療保険が適用されます。

統合医療は、これらの代替医療と西洋医学をミックスして治療の効率を上げるというもので、米国・欧州ではこの動きがかなり進んでいます。

市川治療室の訪問鍼治療は、ドクターの同意（指示）を頂き、代替・補完医療として鍼刺激を提供する医療サービスを心がけています。

今月ご紹介した本・雑誌「医道の日本 8月号」には「ねたきり患者へのリハビリ鍼灸」という私が寄稿した記事が載っています。

…次回に続く